

令和6年2月26日

桜川市議会議長 萩原剛志 様

桜川市議会議員 川股 隆 ⑨

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 困難女性支援法の施行について	(1) この4月に施行されるが、この法律の目的、理念、そして市町村の義務についての市長の考え方を伺いたい。 (2) 結城市では平成25年度から女性相談員を配置し実績をあげている。桜川市は相談員の配置など、どのように取り組みを準備しているのか。 (3) 市民の認識、つまり「常識」の転換が必要であり、「教育、啓発」が重要とされている。「広報、さくらがわ」などで、市民にどのように周知する考えか。	市長 副市長 部長
2. 1月11日付の監査結果を受けての対応について	(1) 監査意見では、「物品の購入などに当たり、クラセル桜川に過度に一任した」と指摘している。この原因は、市長が代表取締役で、利益相反の関係にあるからだ。代表取締役を即刻辞めるべきだが、どのように考えているのか。 (2) 監査意見では、「日付を意図的に合わせたとの疑念をもたれる。実績報告書は実績が明瞭とは言いがたい」と指摘している。副市長から市の財務規則の趣旨を徹底させる文書通知を出すべきではないか。 (3) 不適正な事務処理をした職員、とくに管理職は、「懲戒処分等に係る基準」に該当するので処分を行うべきではないか。	市長 副市長 部長
3. 桜川市図書館について	(1) 図書館法、「基準」告示、市条例から図書館長を置くことになるが、館長は議会に出席し答弁できる館長と理解してよいか。	市長 教育長 部長

	<p>(2) 図書館協議会をどのように位置づけるのか。公募市民を3人以上とすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 運営評価は、誰がどのように行う考えか。</p> <p>(4) 情報公開については、市の情報公開条例に準ずることになるのか。</p>	
<p>4. 生産緑地制度について</p>	<p>(1) 「逆線引きの際の障害になる」との答弁があったが、近く、逆線引きを行う方針があるのか。</p> <p>(2) 指定している9町市において、街づくりや緑農地保全の支障になっている事例があるのか。</p>	<p>市長 副市長 部長</p>
<p>5. 防災対策について</p>	<p>(1) 街中の家屋、高齢者の家屋、昭和56年以前の家屋などについて、耐震診断、耐震工事を促進すべきではないか。</p> <p>(2) 県の想定地震は、茨城・埼玉県境のケースでM7.3であり、桜川市の震度は6弱である。今回の能登半島地震はM7.6だ。県に対し、想定地震を見直すよう要請すべきだ。</p> <p>(3) 志賀原発があり、複合災害時の避難が問題となっている。東海第二原発の避難計画は複合災害ではない。県に対し、地震との複合災害による避難計画の指針を出すよう要請すべきだ。</p>	<p>市長 副市長 部長</p>